

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	19	環境政策費		根拠計画				
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を促す。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	52.226MWh	未確定	90,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	45.1	47.0	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,770	3,032	4,330	4,250	3,582	550
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,770	3,032	4,330	4,250	3,582	550
個票枝番	主な事業内容						
	環境審議会	410	164	410	410	273	109
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	600	0	530	530	149	149
	森のエコハウス施設修繕等	500	94	500	458	458	364
	環境政策顧問の設置	3,000	2,640	2,640	2,640	2,640	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		1,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,390	1,340	1,340	△ 2,990	
1,390	1,340	1,340	△ 2,990	
査定額	説明			
410				
530				
200	環境政策顧問による環境研修(2年間)の終了			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 47人 ・環境政策顧問による、環境政策・まちづくり政策など重要政策の推進を図るとともに、各施策を立案・実行していける職員研修を実施(4回)
評価等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を計画通り開催することができなかった。 ・環境政策顧問研修については、人口急減社会における市としての対応や課題の抽出、問題解決、政策立案の手法などに関するスキル習得につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(3回) ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 38人 ・環境政策顧問による、環境政策・まちづくり政策など重要政策の推進を図るとともに、各施策を立案・実行していける職員研修を実施(4回)
評価等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を計画通り開催することができなかった。 ・環境政策顧問研修については、人口急減社会における市としての対応や課題の抽出、問題解決、政策立案の手法などに関するスキル習得につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・自然エネルギー利用と普及啓発の推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出			
			項	1	総務管理費		根拠計画					環境基本計画、第二次地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画
			目	19	環境政策費							
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの新エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	52,226MWh	未確定	90,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	14.0万トン	未確定	12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		11,029	9,670	14,020	14,358	9,466	△ 204
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	200	200	10,000	10,000	8,800	8,600
一般財源		10,829	9,470	4,020	4,358	666	△ 8,804
個票枝番	主な事業内容						
	木質バイオマス活用促進事業補助金	7,009	7,006	10,000	9,777	6,389	△ 617
	未利用間伐材の搬出促進	3,800	2,604	3,800	3,800	2,456	△ 148
	自然エネルギー活用支援	220	60	220	220	60	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
14,124	12,170	12,170	△ 1,850			
		8,000	△ 2,000			
14,124	12,170	4,170	150			
査定額	説明					
8,000						
3,000						
1,170						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 71台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 677t
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・地域における自然エネルギー導入に向けた取組みにおいて、アドバイザーの派遣など自然エネルギー活用支援制度の活用が図られた。 ・令和2年度に計画期間満了となった高山市新エネルギービジョンについて、国の脱炭素に向けた大きな動きを見極める必要があったため、計画の見直しを翌年度に延期した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 ・地域における自家消費型エネルギー活用の促進を図る。 ・国の脱炭素に向けた各種指標や施策の動向を注視しながら、新エネルギービジョンを策定する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 66台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 565t
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・地域における自然エネルギー導入に向けた取組みにおいて、アドバイザーの派遣など自然エネルギー活用支援制度の活用が図られた。 ・省エネルギーの促進と再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出量実質ゼロの取組みを一体的に推進するため、高山市新エネルギービジョンと高山市地球温暖化対策地域推進計画を統合した第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画を策定した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 ・地域における自家消費型エネルギー活用の促進を図る。 ・第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取り組み、気候変動への適応などにつながる具体的な取り組みを進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・地域主導による自然エネルギー活用に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出			
			項	1	総務管理費		根拠計画					環境基本計画、第二次地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画
			目	19	環境政策費							
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	14.0万トン	未確定	12.4万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	4,985kl	未確定	9,000kl

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,000	5,566	6,110	5,924	5,816	250
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(雑入)		153			142	△ 11
一般財源		6,000	5,413	6,110	5,924	5,674	261
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	6,000	5,566	6,110	5,924	5,816	250

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,371	6,130	6,130	20	
6,371	6,130	6,130	20	
査定額	説明			
6,130				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・急速充電器利用台数 4,133台
評価等	・経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。 ・令和2年度に計画期間満了となった高山市地球温暖化対策地域推進計画について、国の脱炭素に向けた大きな動きを見極める必要があったため、計画の見直しを翌年度に延期した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・運輸部門の省エネルギーを推進するため、引き続き、EV等の次世代自動車の普及促進を図る。 ・国の脱炭素に向けた各種指標や施策の動向を注視しながら、高山市地球温暖化対策地域推進計画を策定する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・急速充電器利用台数 5,309台
評価等	・経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。 ・省エネルギーの促進と再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出量実質ゼロの取組みを一体的に推進するため、高山市新エネルギービジョンと高山市地球温暖化対策地域推進計画を統合した第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画を策定した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・運輸部門の省エネルギーを推進するため、引き続き、EV等の次世代自動車の普及促進を図る。 ・第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取り組み、気候変動への適応などにつながる具体的な取り組みを進める。

担当課 予算要求 ポイント	・クリーンエネルギー自動車の普及促進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費		根拠計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
特定外来生物防除活動団体数	12団体	12団体	-
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	226人	223人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,185	7,326	9,185	9,129	7,741	415
特定財源	国費()						
	県費(生物多様性保全推進事業費 10/10)		3,902			3,945	43
	その他()						
一般財源		9,185	3,424	9,185	9,129	3,796	372
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	2,700	2,287	2,500	2,500	2,674	387
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,050	848	1,450	1,450	830	△ 18
	特定外来生物の防除・啓発	5,000	3,941	4,500	4,444	4,051	110

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		9,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,280	7,910	8,210	△ 975	
8,280	7,910	8,210	△ 975	
査定額	説明			
2,500				
890				
4,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習の開催 14校 563人 ・山の自然学校の開催 4回 32人 ・いのちの森づくり植樹の実施 26人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 3回 40人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・市内民間企業との連携により植樹を行うなど、新たないのちの森づくりの取り組みが進められた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を計画通り開催することができなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習の開催 16校 621人 ・山の自然学校の開催 1回 25人 ・いのちの森づくり植樹の実施 24人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 4回 73人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・市内民間企業との連携により植樹を行うなど、新たないのちの森づくりの取り組みが進められた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を計画通り開催することができなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・生物多様性の保全と啓発に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・特定外来生物の防除に必要な経費を追加
--------------	---------------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。他
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	2	観光費		根拠計画		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	3	自然公園費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより、自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	45.1	47.0	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		116,664	111,340	96,409	97,909	87,336	△ 24,004
特定財源	国費(中部山岳国立公園活性化事業費1/2)	7,250	7,250	0			△ 7,250
	県費(乗鞍スカイライン道路/パトロール事業委託金10/10等)	23,050	23,652	13,710	13,710	13,155	△ 10,497
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	400	400				△ 400
一般財源		85,964	80,038	82,699	84,199	74,181	△ 5,857
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	24,310	23,654	33,910	35,410	32,734	9,080
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	34,420	34,955	23,410	23,410	21,713	△ 13,242
	エコパークの推進	1,000	859	990	990	881	22
	ジオパークの推進	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	0
	登山道管理	28,690	28,519	9,950	9,950	9,406	△ 19,113
	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	12,500	8,100	12,500	12,500	7,623	△ 477

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		98,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
100,835	93,664	93,664	△ 2,745			
0						
14,105	13,980	13,980	270			
		10,000	10,000			
86,730	79,684	69,684	△ 13,015			
査定額	説明					
24,640	指定管理委託料、山小屋修繕費等					
32,465						
990						
13,850						
9,710						
11,500						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,629人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 11,545人 山の日自然公園ガイドツアーを開催し、91人が参加 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施 乗鞍山麓五色ヶ原の森が第16回エコツーリズム大賞(環境大臣賞)を受賞
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 自然体験やエコツーリズムへのニーズが高まり、乗鞍山麓五色ヶ原の森については前年比125%の入込を達成した。 新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨に伴う被災の影響などにより、自然公園内の観光施設や山小屋等の運営に多大な影響を及ぼした。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、一体的な自然保護と地域活性化の取組みを推進する。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,311人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 42,639人 山の日自然公園ガイドツアーを開催し、16人が参加 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、コロナ禍で休業日が多い中、一定数の入込を確保するとともに、高い満足度を得ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、自然保護と地域活性化の一体的な取組みを推進する。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森登山道等の修繕に必要な経費を計上 中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化の推進に必要な経費を計上 山の日記念事業の終了 飛騨山脈ジオパーク推進協議会の見直し ⇒協議会のあり方を改めて明確化し、協議会組織及び事業推進方法を見直し
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに